

大学院案内2027

CONTENTS

- 01 CONTENTS
- 02 学長メッセージ・研究科長メッセージ
- 03 お茶の水女子大学が目指す人材育成
- 04 人間文化創成科学研究科組織図
- 05 比較社会文化学専攻
- 07 人間発達科学専攻
- 08 ジェンダー社会科学専攻／ジェンダー学際研究専攻
- 09 ライフサイエンス専攻
- 10 理学専攻
- 11 共創工学専攻／生活工学共同専攻
- 13 副専攻プログラム／キャリア副専攻
- 14 共通科目／長期履修学生制度／国立研究開発法人
科学技術振興機構（JST）採択事業
- 15 奨学金／入学科・授業料
- 17 国際交流
- 18 学生寮／研究支援
- 19 就職支援の取組
- 20 主な就職先
- 22 大学院入試情報



GRADUATE SCHOOL OF
HUMANITIES AND SCIENCES,
OCHANOMIZU UNIVERSITY

Messages



2026年4月
国立大学法人
お茶の水女子大学長
佐々木 泰子

自分イノベーション – 時を超え、多元的に！

お茶の水女子大学は、1875年にわが国初の女性のための官立の高等教育機関「東京女子師範学校」として東京・御茶ノ水の地に誕生して以来、150年にわたる女子教育の歴史を刻んできました。優れた教育者を育てることを目的とした「女子高等師範学校」、「東京女子高等師範学校」の時代を経て、1949年に新制の総合大学である「お茶の水女子大学」となりました。2004年に国立大学法人お茶の水女子大学となり「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」との理念の下、本学で学ぶ全ての女性たちが、多様な文化と異なる価値観や考え方を持つ人々と深く理解しあい、信頼しあって、互いに切磋琢磨しながら、自らを成長させて行くことを願い、学びたくても学ぶことのできない開発途上国の女性たちをも含めて、国境を越えた女子教育の推進に努めてきました。

1963年には大学院修士課程が、1976年には博士課程が設置され、それ以来、高度な研究・教育を担う国立女子大学としての歩みを続けています。大学院では、様々な領域における専門性を深めることは勿論ですが、同時に、分野横断的な視点に立つて時代をリードし、また、豊かな感性をもって世界の未来を創出する女性たちの育成に取り組んでいます。加えて、女性のライフコースを視野に入れ、少人数教育によって学生の皆さん一人ひとりの能力を伸ばし、本学の使命である女性リーダーの誕生を支援しています。たとえば、前期課程での高い専門性を活かすための就業力育成を目的としたキャリア副専攻、後期課程での企業関係者と自由に情報交換できる場の提供、また後期課程修了後の研究員制度など、学生の皆さんの多様なキャリアパスの充実を図り、自己主体感をもって社会で活躍することを目指したサポート体制の拡充を推進しています。

本学大学院で、真摯に学びの道を究めようと努力する皆さんには、2年間あるいは5年間の学びと自己研鑽を経て、人生の目標に向けて力強く羽ばたいて下さることを願っています。今や「人生100年」でライフシフトが問われる時代—皆さんがお茶の水女子大学の伝統に根ざした確固たる教育基盤を踏みしめ、自らの変革をとおして新たな社会的価値を創造し、世界中の人々の幸せに資する活躍をして下さることを、心から期待しています。

大学院で学ぶということ

この世界、自然界、そして人間の織りなす社会は未だ解明されていない不思議や謎、あるいは不可解な事象に満ちあふれています。そして大学院を志している皆さんは、文理にかかわらず自ら思い定めた問いの究明に向かって学問的に挑もうとしていることでしょう。

お茶の水女子大学はそうした真摯な探究心と知的好奇心に応え、後押しする教育体制をとっています。大学院の組織としては研究科ひとつという構成ですが、そのもとにさまざまな分野を包括する専攻が博士前期課程、後期課程ともに6つ設けられ、多士済々の個性豊かな研究者が皆さんを迎え入れ、嚮導（きようどう）してくれます。また本学では、2024年度に74年ぶりの第4の学部、共創工学部を設置しましたが、これに対応するかたちで2026年4月から新たに博士前期課程に共創工学専攻を開設し、未来の社会・環境・文化を共創するための高い実践力を有する人材の育成を目指していきます。

大学院という世界は自らの研究課題を深く鋭く考究していくところです。どんどん学びを進めていってください。ただ、研究が進めば進むほど必然的に専門性は増していきます。その際ぜひ留意してほしいことは、研究を深めることと同時に時には立ち止まって周囲を見渡す、すなわち自らの研究を俯瞰し客観化する視角を併せ持つということです。なぜこのテーマを研究するのか、それはどんな意義をもつのか、を絶えず自問することはとても重要です。高い頂きをもつ山ほど裾野が広いというのは真理なのです。もうひとつ、大学院時代というのは驚くほど早く時間が過ぎ去っていきます。しっかりと研究計画を立て、着実に歩を進めていってください。



2026年4月
お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科長
安成 英樹

お茶の水女子大学が目指す人材育成

お茶の水女子大学は世界に通用する俯瞰的視野と独創性に満ちた真の女性リーダー創出を目指す最高水準の研究拠点として、長い歴史の中で培ってきた実績をもとにグローバルに活躍する女性人材を育成します。女性のライフコースを重視しながら、少人数教育の利点を生かし、個々の学生の能力を伸ばし、女性リーダーの誕生を支援します。

学生の多様なキャリアパスを充実させるために、前期課程での高い専門性を活かすための就業力育成を目的としたキャリア副専攻（公務員/産学連携/消費者科学）、後期課程での企業関係者と自由に情報交換できる場の提供（ワークインプログレス）、また後期課程修了後の研究員制度（リサーチフェロー、研究院研究員、みがかずば研究員）など、社会で活躍することを旨としたサポート体制が充実しています。

お茶の水女子大学大学院の特色

1 複数指導制

2 学際性・国際性

博士後期課程から複数指導制を取り、多様な研究視点の導入を可能にします。

3 キャリアパス

ライフコースに配慮しながら、キャリアパスを提案します。

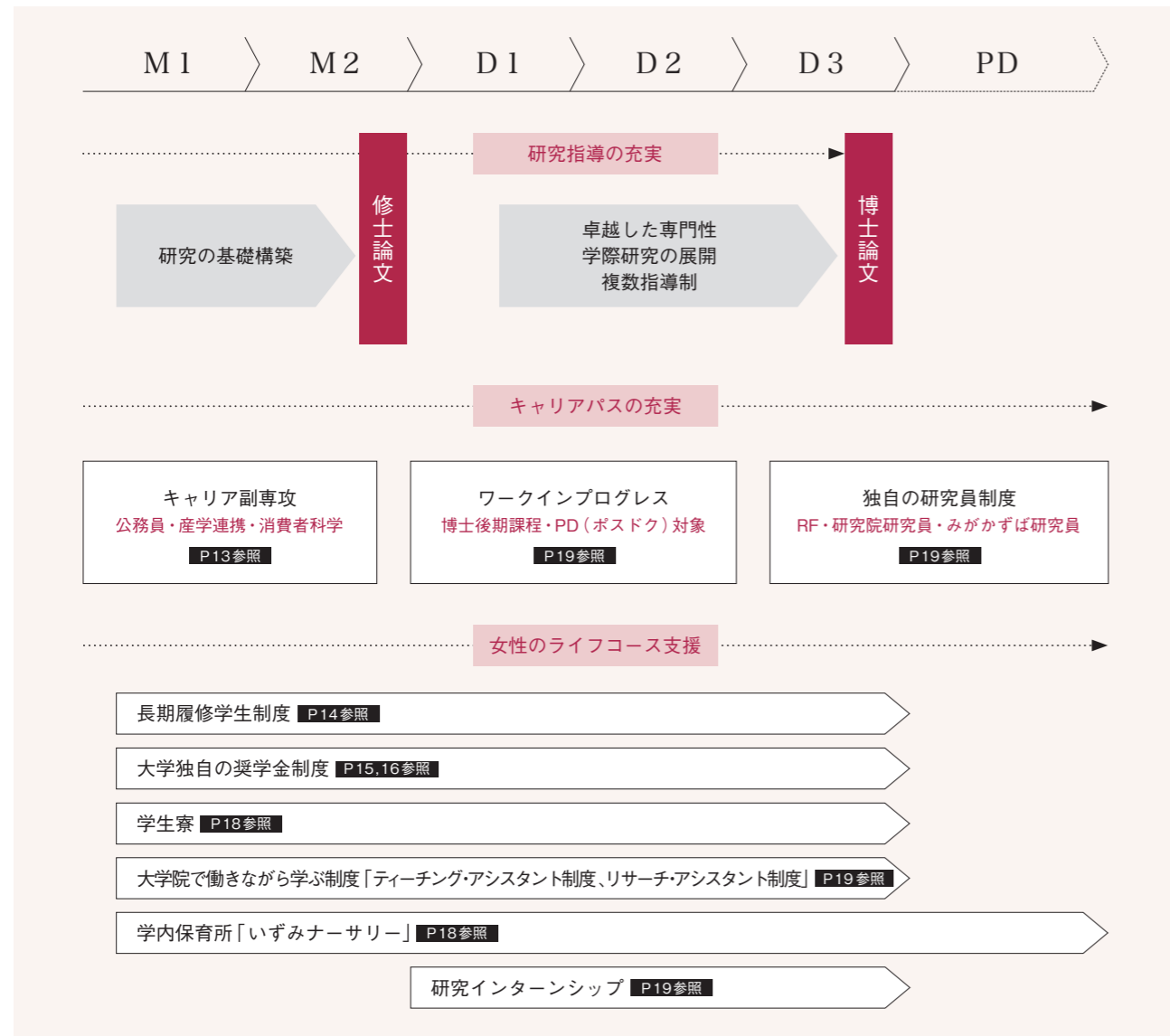
4 長期履修制度によるサポート

介護、子育て、または就業等、大学院へ通うための十分な時間を確保できない学生向けに、履修期間を延長することで学位取得をサポートします。

5 後期課程からの入学も支援

領域横断的思考を育て、グローバル化する社会に柔軟に対応できる能力を育てます。

後期課程からの入学も奨励し、各自の専門性に合わせた指導をします。



人間文化創成科学研究科組織図

博士前期課程																					
専攻名	比較社会文化学専攻							人間発達科学専攻			ジェンダー社会科学専攻	ライフサイエンス専攻		理学専攻		共創工学専攻					
入学定員	58名							27名			18名	39名		70名		10名					
コース名	日本語日本文学コース	アジア言語文化学コース	英語圏・仏語圏言語文化学コース	日本語教育コース	思想文化学コース	歴史文化学コース	生活文化学コース	舞踊・表現行動学コース	音楽表現学コース	教育科学コース	心理学コース	発達臨床心理学コース	応用社会学コース	保育・児童学コース	生命科学コース	食品栄養科学コース	遺伝カウンセリングコース	数学コース	物理科学コース	化学・生物化学コース	情報科学コース



領域横断的な進学も可能です

博士後期課程																	
専攻名	比較社会文化学専攻				人間発達科学専攻				ジェンダー学際研究専攻		ライフサイエンス専攻			理学専攻		生活工学共同専攻	
入学定員	27名				14名				4名		13名			13名		2名	
領域名	国際日本語学領域	言語文化論領域	比較社会論領域	表象芸術論領域	教育科学領域	心理学領域	発達臨床心理学領域	社会学・社会政策領域	保育・児童学領域	ジェンダー論領域	生命科学領域	食品栄養科学領域	遺伝カウンセリング領域	数学領域	物理科学領域	化学・生物化学領域	情報科学領域

◎各専攻・研究室・教員構成の詳細は
<https://www.dc.ocha.ac.jp/>



◎研究者情報
<https://researchers2.ao.ocha.ac.jp/>



◎ 年度別博士前期課程学位授与者数 (過去5年間)

学位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
修士 (人文科学)	57	60	59	54	51
修士 (社会科学)	39	32	30	20	36
修士 (理学)	73	89	101	93	107
修士 (生活科学)	20	30	24	20	24
修士 (学術)	7	6	6	7	6
修士 (生活工学)	2	6	5	1	0
修士 (工学)	15	7	8	7	10
計	213	230	233	202	234

◎ 年度別博士後期課程学位授与者数 (過去5年間)

学位	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
博士 (人文科学)	19	5	9	9	13
博士 (社会科学)	6	5	3	14	8
博士 (理学)	2	12	9	5	6
博士 (生活科学)	5	0	0	1	2
博士 (学術)	5	4	0	6	8
博士 (生活工学)	0	0	0	0	0
博士 (工学)	2	6	0	1	1
計	39	32	21	36	38

※論文博士を含む

比較社会文化学専攻



https://www.dc.ocha.ac.jp/m/c-cultures/index.html

前期課程	日本語 日本文学 コース	アジア 言語文化学 コース	英語圏・仏語圏 言語文化学 コース	日本語教育 コース	思想文化学 コース	歴史文化学 コース	生活文化学 コース	舞踊・表現 行動学 コース	音楽表現学 コース
後期課程	国際日本学領域			言語文化論領域		比較社会論領域		表象芸術論領域	

特色

研究対象は、社会、文化、言語、芸術など多方面にわたっています。また、日本を中心とする領域もあれば、世界のさまざまな国や地域を対象とする分野もあり、人類の長い過去の学問の蓄積を重視するとともに、現代の文化や社会の変化にも目を向けています。こうして、学術研究において指導的役割を果たす研究者を育成するとともに、社会において高度な専門的知識・技能を発揮できる人材の養成を目的としています。前期課程はきめ細かく学生の学問的関心にこたえるために、専門分野を少し細かく区切ります。後期課程はより大きな括りで再編して4つの領域としています。専門的知識のさらなる深化をはかるとともに、領域横断的な創造的能力を涵養するためです。

博士前期課程

■日本語日本文学コース

日本語日本文学コースは、古典文学・近現代文学・日本語学の三分野から構成されています。それぞれが連関しながら、研究に必要な学識と方法が広く深く学べるようカリキュラムが組まれています。

学位論文題目例

『枕草子』の「雪」表現の研究―和漢文芸の受容と創造―、『正治二年院初度百首』に向けられた慈円の意図―歌枕への考察を通して―、芝全交作黄表紙の手法、泉鏡花「外科室」論―画師の語る〈真の美〉―、揺らぐ芸術家の〈眼〉―中期太宰治作品における自己定位の問題と変遷―、水害を表す語彙の史的研究、子どもの問題行動に対処する父親の方略―子ども版日本語日常会話コース(CEJC-Child)を用いて―

■アジア言語文化学コース

中国語学・文学研究の基礎を築きます。古典から近現代文学、言語学と指導体制は整っています。在学中、中国や台湾の協定校に留学する学生が多く、修了後は、本学及び他大学の博士後期課程へ進学、あるいは企業等に就職します。

学位論文題目例

岑参詩の送別歌行について―その語りから導かれるもの、中国語における疑問詞の非疑問用法について、巖歌亭小説における研究―フェミニズム物語論の視点より

■英語圏・仏語圏言語文化学コース

英語圏と仏語圏の専修に分かれますが、必要に応じ、各言語圏の交流や比較対照の視点も採り入れて研究を行います。研究分野は文学系と語学系に大別され、各言語の文学・文化及び言語を研究対象とします。

学位論文題目例

Toward the Ambiguities:Herman Melville’s Experiments of Writing a Romance in *Pierre; or The Ambiguities* (1852), The Semantics of *Just*: Through a Comparison with Japanese *Tada and Duke*, Japanese L1 Cognate Knowledge Use in English Lexical Inferencing, キム・チュイ作品における交差性の分析―人種、国籍、ジェンダーの交差を中心として―、シュペルヴィエルの長編小説における女性のイメージと役割

■日本語教育コース

多様な言語、文化的背景を持つ学習者を理解し、彼らのコミュニケーション能力を向上させるための基盤となる理論や方法、専門性と実践力をもったグローバル社会の日本語教育専門家を育成します。

学位論文題目例

JSLの子どもの対のある自他動詞の産出―Monoとの差異・家庭使用言語との関係―、JSL高校生と日本人高校生による小論文の協働学習―ピア・レスポンスと振り返りに着目して―、JSL環境の中国人日本語学習者の使役文・「てもらう」文の使い分けに関する習得研究、日本語学習者の日英翻訳における「文化」の表象―社会記号論的翻訳論の視座から―

■思想文化学コース

物事の成り立ちを支える原理や、それについて私たちが抱えている理解を明らかにし、議論の俎上に載せませ。現在論じられている問題を、一つ一つ論拠を確かめながら自ら考えたり、過去に書かれた古典の精読を手掛かりに考えたりする訓練を行います。論証では論理学や科学哲学、古典の読解では主に西洋の近世から近代の哲学、西洋と日本の古代から現代の倫理学・倫理想・宗教思想のテクストを原典で丁寧に読むことで視野の広い思考力を養います。

学位論文題目例

ショーペンハウアーにおける意志の否定について―『意志と表象としての世界』に基づいて―、殉教と自己犠牲的行為との比較の試み:キリシタン殉教精神の分析を通じて、和辻倫理学における儒教思想の受容―「人倫的組織」を中心に―

■歴史文化学コース

日本史・アジア史・西洋史を柱とする歴史学と、西洋と日本の美術史学によって構成されています。文字資料分析に、造形資料、視覚資料などの幅広い分析を加えて総合した多角的な研究を目指します。研究職を目指す人とともに、社会の場で習得した能力や知見を発揮したいという人を歓迎します。

学位論文題目例

小野篁伝説の発生と伝播についての研究、『平家物語』における武装の色彩表現の変遷、近世中後期秋田藩における親族的家臣「苗字衆」の政治的役割、高度経済成長期におけるNHKドキュメンタリー、清における元旦朝賀儀礼の形成、治世前半におけるルイ16世の政治構造、12世紀修道院世界における「同性愛」の親密関係についての検討

■生活文化学コース

生活文化の諸事象を対象とし、多様な視座のもとで新しい学際研究を試みるコースです。日本・西洋の服飾の歴史や現代モードなどを明らかにする服飾文化研究、工芸を中心とした生活文化を比較文化論の立場から論じる研究、代々受け継がれてきた生活文化を民俗学・文化人類学の立場から論じる研究が中心です。生活文化論を人間理解の途として日本の内外に発信する意欲のある学生を求めます。

学位論文題目例

1890年代から1900年代のアメリカにおける家庭内でのレース作り―サラ・ハドリーによるモダン・レースの普及と理想の母親像―、既製服とそのサイズ規格の普及による消費者の購買行動・購買意識の変容、観光資源としてのアニメ聖地の有用性―埼玉県川越市「神様はじめました」を題材に、文化の大衆化に関する一考察:明治時代から昭和初期の茶の湯と三越呉服店の関係を事例として

■舞踊・表現行動学コース

舞踊・スポーツなどの身体表現運動について、芸術学、民族学、教育学、身体運動科学などの分野から学際的に教育・研究を行います。特に舞踊教育、舞踊芸術、民族舞踊、動作学といった研究領域が中心です。舞踊やスポーツの実践をふまえ、理論的、科学的知見を十分に修得した専門的人材の育成を目指します。本コースを志望するものは、修士論文作成のために十分な外国語の能力と専門知識が必要です。

学位論文題目例

中学生のダンスに対するジェンダー・イメージ、ルーマニアのハンガリー民族居住地における民俗舞踊の伝承―カロタセグ地方の民俗舞踊活動を事例として―、コンテンポラリーダンスにみられるスイング動作の運動特性―印象評価との関連から―、舞踊創作とドラマトゥルクーヴパタール舞踊団(1980-1989)におけるライムント・ホーグに着目して―

■音楽表現学コース

音楽学と演奏学の二つの専攻からなり、後者はピアノまたは声楽を専門とします。修士論文は西洋音楽や民族音楽の枠を越えた新しい知見を切り拓くことを目指し、演奏の専門性も高いレベルを要求しています。また、両専攻とも英語の専門文献を読解するだけの語学力を必要としています。

学位論文題目例

ヨハネス・ブラームス《8つのピアノ小品》作品76より第7番「間奏曲」の分析、河竹黙阿弥作品における音楽演出と伝承の関連性―「鼠小紋東君新形」の分析を中心に―

博士後期課程

■国際日本学領域

日本に関するそれぞれの専門分野において高度な研究を進めるとともに、関心を学際的に広げ、総合学としての日本学を国際的視野のなかで研究し、世界に発信する人材の養成を目指しています。

学位論文題目例

言語少数派の子どもの生活体験を基盤とする概念発達の様相、寺山修司の演劇媒体を通じた制度解体、日本の対中経済進出と居留地経営政策、律令断罪制度の確立過程、〈完遂〉を表す複合動詞の通時的研究

■言語文化論領域

アジア、欧米を中心とする各国文学・言語学・言語教育学について高度な研究を行います。また領域横断的な研究視点を採り入れ、文学・文化の研究における新たな知見を国際的に発信する能力を養います。

学位論文題目例

文学史上における阮籍「詠懐詩」の位置、“半山”作家林海音の主婦像、郁達夫小説に見られる西洋への憧憬、Henry James on Ethical Questions in the Process of Globalization、Person in Partial Control、近代フランスの食文化とガストロノミーをめぐる考察―『美食のフランス』(1921-1927)を中心に―、ブリヤ=サヴァラン『味覚の生理学』とイデオログの知の革命―新たな人類学としてのガストロノミー―

■比較社会論領域

哲学思想・歴史からスポーツまでを対象に、世界の諸地域を比較横断する研究・教育を推進し、過去の思想・歴史を踏まえつつ、現代社会が要請する新しい人文科学の創成に寄与する人材の育成に努めます。

学位論文題目例

16世紀前半スペインの対イングランド外交交渉―ウスタシュ・シャピユイ大使を中心に―

■表象芸術論領域

美術・工芸・服飾・舞踊・音楽を主な対象とし、文化表象・表現を多方面から専門的かつ横断的に分析・追究する領域です。人間理解や国際協力の媒介として表象芸術論を展開する学生を求めています。

学位論文題目例

日本音楽の海外公演における「仲介者」(Vermittler)の役割―ドイツ語圏でのハインツ=ディーター・レーゼHeinz-Dieter Reeseの実践―

人間発達科学専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/human/index.html>

前期課程	教育科学コース	心理学コース	発達臨床心理学コース	応用社会学コース	保育・児童学コース
後期課程	教育科学領域	心理学領域	発達臨床心理学領域	社会学・社会政策領域	保育・児童学領域

特色

社会的かつ個人的存在としての人間と、その発達過程を対象として、多様なコース／領域を設け、学際的、応用的にアプローチし、高度な女性研究者、職業人を育成します。博士前期課程から博士後期課程まで一貫した教育指導を保持し、特に後期課程ではステージ制により、博士号取得に向けた系統的な教育を行っています。

■教育科学コース/領域

教育思想、教育史、教育社会学、教育開発論、教育方法・課程論、教育心理学、特別支援教育等、教育学の諸領域を研究することができます。進学はもちろん教員志望や社会人学び直し等、多様な研究機会を提供しています。

学位論文題目例

【博士前期課程】

大正新教育における家庭学習の構想と実践、教育委員準公選運動の全国的展開に関する史的考察、高校生の「親世代になることに対する意識」についての検討、討論を支える原理についての思想的考察、中国における「逆向考研」現象に関する教育社会学的研究

【博士後期課程】

ルワンダにおける乳幼児教育支援の促進要因の検討—3歳未満児の早期学習を中心に—

■心理学コース/領域

認知・発達・社会・教育・臨床心理学を専門とする教員の指導を受けながら、心理学の先端的研究を学び、高度で広範囲な研究方法論や知識を獲得することができます。人間の心理メカニズムを、発達という時間軸、社会という空間軸の中で、多次元的・総合的に検討し理解する人材を育成します。

学位論文題目例

【博士前期課程】

自然災害リスク認知のパラドックスの検証、テレワーク利用者のウェルビーイングに関連する個人・家庭・職務要因の探索的検討、The Impact of Emotion Regulation on Emotional Eating in East Asian College Students

【博士後期課程】

自閉スペクトラム症特性とノイズ下での言語聴取困難との関連、ストレスマインドセットと大学生の精神的健康との関連—COVID-19の感染拡大下で—、体外離脱錯覚実験を用いた自己身体認知に関する研究

■発達臨床心理学コース/領域

教員は、病院、学校、司法、産業などの領域において心理臨床と研究に携わってきた研究者・実践家であり、科学的視点と臨床的視点を組み合わせた訓練を受けることが可能です。前期課程は、臨床心理士資

格認定協会の第1種指定校であり、公認心理師受験資格にも対応しています。後期課程の学生は、実践指向的な研究に取り組み、心理臨床実践と研究を両立し、科学者・実践家としてのコンピテンシーを獲得します。

学位論文題目例

【博士前期課程】

自閉症スペクトラム障害と性別違和はどのように併存しているのか—当事者たちの「自分史」に注目して—、子どもの攻撃にまつわる初心者セラピストの体験プロセス、発達障害児の母親の養育を通じた内的な変化—エンパワメントの視点から—

【博士後期課程】

文学教材を通じた感情体験の探究—小中学生用文学読書体験尺度の作成と仮説モデルの生成—、「母親になる」体験をとおした女性心理臨床家の職業的発達—妊娠、出産、子育ての体験と臨床活動の交差—

■応用社会学コース/社会学・社会政策領域

現代社会の諸問題(メディア、ジェンダー、フィア、貧困、格差、医療、家族、異文化接触など)について、社会学、社会政策、文化人類学の方法によって解明し、実践的解決策の提案へ繋がります。専門社会調査士資格を取得する学生も少なくありません。

学位論文題目例

【博士前期課程】

日中関係をめぐる世論調査の変遷と特徴についての比較研究、在日中国人の老親扶養問題、「腐女子」の経験とジェンダーの関係性

【博士後期課程】

レズビアン・ゲイ・バイセクシュアル「家族」の質的研究、高齢者介護政策の転換と家族介護への現金支払い、現代日本における男性不妊の位置づけ、Dynamic Hamming Distance によるキャリアの類型化

■保育・児童学コース/領域

保育、教育、環境、社会、制度、歴史、心理、発達など多様な境界領域から保育・児童学を研究する教員を配置し、テーマの焦点化、研究方法論の検討プロセスを重視しながら研究室を決めていきます。社会人入学者が多いのも特徴です。

学位論文題目例

【博士前期課程】

保育制度の変遷にみる保育所施設長要件に関する考察、保育における廊下の使われ方と幼児の参加—幼稚園での観察調査から—、絵本における動物の擬人化の分析—描写方法と人間中心主義の関係に着目して—

【博士後期課程】

乳児保育における関係性による教育：関係的物質論からみたレッジョ・エミリアの保育記録と日本の園生活のイントラアクション、保育者の保育観の形成過程に関する研究—藤野敬子のライフストーリー分析から—、幼稚園3歳児クラスに見られる「好意」の研究—倉橋惣三の相互的生活論に着目して—

ジェンダー社会科学専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/gender/>

前期課程	—
------	---

特色

ジェンダー視点を手がかりとして、既成の学問体系とその所産を反省的に見直し、女性・家族・地域・国家などにかかわる諸現象をグローバルな視野のもとで学際的に解明する分析力、生活の場で直面する具体的課題から出発してその解決に向けて提案する実践力の涵養を目指します。

●**ジェンダー研究科目群**＝ジェンダー研究の基礎から最先端までをカバーする多彩な科目群。ジェンダー論を集中的に学び、社会や文化の諸問題に対する批判的な思考力を磨くことを目指します。さらに、より高度なジェンダー研究へと進む経路ともなります。

●**専門科目群**＝地理学、地域研究、開発学、法学、政治学、経済学、社会学などの各学問分野における専門的科目群。個別ディシプリンを基礎から発展のレベルまで体系的に修得するためのカリキュラムです。

●**学際方法論科目群**＝視野を広げ、方法論を磨く科目群。分野の異なる複数教員による学際共同演習や調査法(量的、質的、フィールドワーク等)に関するコースワークなどを提供します。研究を進める前提として、広角の視野と厳密な方法を身につけてもらうことが目的です。

この3つの科目群から、各自のテーマ等に応じて様々なパターンで科目選択ができます。また、国内外のジェンダー研究の拠点や海外協定校、国際機関とも連携して多彩なカリキュラムを提供します。本学出身者はもちろん、多くの留学生・他大学出身者・社会人院生が切磋琢磨して学んでいる専攻です。

カリキュラムの構成

	ジェンダー研究(問題)	専門科目(体系)	学際方法論(方法)
選択	セクシュアリティ論 社会保障とジェンダー ジェンダー統計論演習など	各学問分野を体系的に 修得するための 専門科目群	ジェンダー学際共同演習 I～IV
選択必修	ジェンダー立法過程論 ガバナンスとジェンダー		研究方法論コースワーク (量的、質的、フィールドワークから選択)
必修	ジェンダー基礎論		ジェンダー社会科学論
特別研究(修士論文)			

学位論文題目例

沖縄でセクシュアル・マイノリティ女性として生きる—沖縄県中南部のレズビアン・コミュニティから問う—、トンガ王国エウア島における短期還流型労働者の生活戦略、提供精子による生殖補助医療の対象者拡大に向けて—フランス生命倫理法改正をめぐる議論からの考察—、育児中の女性管理職のワークライフバランス維持を可能にする職場環境・家庭要因～日英比較を通して～、女性の「SRHR:性と生殖に関する健康と権利」に関与する男性主体像のあり方—現代日本の異性愛カップルにおける月経ケア分析から—、共働き夫妻による家事分担のペアデータ分析—性別役割分業の再編におけるエージェンシーの在り方—、米軍基地周辺地域におけるセクシュアリティの統制—戦後の立川・国立における浄化運動を事例に—、日本におけるウメ、サクラ開花日の地域差と気候変動との関係—1953年から2023年を対象として—

ジェンダー学際研究専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/d/gender/>

後期課程	ジェンダー論領域
------	----------

特色

ジェンダー研究教育の拠点形成として2005年4月に設立されました。博士後期課程において学際研究の視点からジェンダー研究の確立・重点化をはかる日本で初めての専攻です。専攻の教員は、それぞれの学問領域を土台に現代の社会的課題を分析する授業内容を提供しています。これまでの修了生の博士論文はジェンダー視点から既存の学問分野に新たな視野を提示した事が評価され、ジェンダー法学会賞、女性史学賞、人文地理学会学会賞、経済地理学会賞、山川菊栄賞、日本人口学会優秀論文賞等を受賞しています。

学位論文題目例

Exploring the Takarazuka world: An ethnographic study of Takarazuka Revue's marketing strategies, urban space, and fan culture development, インドの就業構造の変化と有配偶女性の世帯内意思決定—エンパワメントの枠組みを使った分析—、日本における女性活躍推進が企業経営に与える影響—ジェンダー・ダイバーシティに関する実証的研究—現代中国の高度成長とジェンダー—農嫁女問題の分析を中心に、紛争後復興期のジェンダー・クォーター東ティモール女性のネットワーク化、共働き夫婦の育児責任のジェンダー化プロセス—保育所入所申し込み手続きに着目して、「承認のライシテ」とムスリムのための場所づくり—フランス・ストラスブールにおけるモスク・墓地・宗教間対話、冷戦後安全保障の再構築と国際ジェンダー平等規範—女性・平和・安全保障アジェンダの形成と日本による受容、女性の就業と出産—出産後のキャリアに着目した実証分析、住宅弱者の生活再建における可視化しづらい困難—DV被害者とホームレス経験者の事例から、男性性と有配偶者の家事・育児遂行—ケアする男性性に着目して、核家族世帯における子どもの家事遂行—親の家事遂行と親子のコミュニケーションに着目して、子どもを持つ意欲と実現: ドイツの大規模パネルデータ分析から、精神障害者の「地域移行」における生の技法とケアの場所、「なんとかやる」ことで創られる日常—現代アルジェリア女性の有償家内労働にみる実践的戦術、ケイパビリティ・アプローチ実践のための一試論—未婚女性非正規雇用者の生活の質の検討を例に、求職者支援訓練のジェンダー分析: 受講者のエンパワメントの視点から



ライフサイエンス専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/life/index.html>

前期課程	生命科学コース	食品栄養科学コース	遺伝カウンセリングコース
後期課程	生命科学領域	食品栄養科学領域	遺伝カウンセリング領域

特色

英語のLifは、生命だけでなく生活や人生をも含む言葉です。ライフサイエンス専攻では、この広義のLifeを教育します。生命の基本的な仕組みを探求する科学、それを現実の生活に役立てる科学、両者を分離せずに両輪として研究します。

■生命科学コース/領域

変動する環境の中で生きる生物の真の姿を理解するために、生物の普遍性と多様性の両面を対象として、遺伝子・ゲノム・生体分子・細胞・個体・集団・生態系といったさまざまなレベルで基礎研究を行っています。前期課程では、大学院授業の受講と研究に携わることで、生命科学を含む幅広い分野での研究・開発の推進者として社会で活躍できる力を養います。後期課程では自ら研究を構築し、生命科学の創造者として活躍できる力を身に付けます。

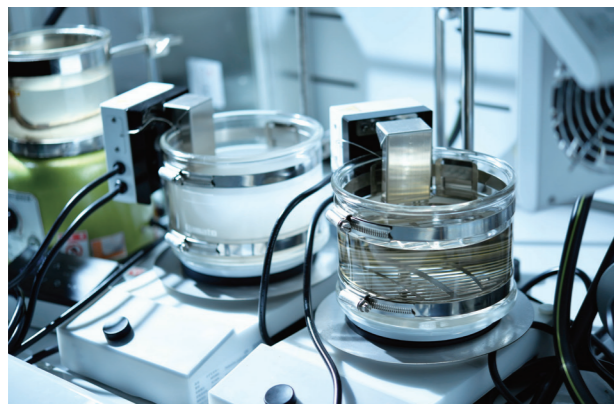
学位論文題目例

【博士前期課程】

嗅覚受容体Or85cの種特異的な嗅覚行動への効果、イトマキヒトデ未受精卵アポトーシスにおけるCaspase-3/9活性化機構の解明、植物の細胞内膜交通を制御するRABH1 GTPaseの機能解析、海中林保全手法の開発 -地域内ゲノミック選抜の有効性検証-、基準振動解析を用いたPiezoタンパク質の構造変化解析

【博士後期課程】

Study on a novel trans-Golgi/TGN-localized protein family in Arabidopsis thaliana, Computational study on human hearing impairment related proteins: The relationship among their mutations, network and phenotypes



■食品栄養科学コース/領域

食物を美味しく食べる方法や、生活習慣病の予防、食の安全性などの問題を解析、解決することを目指し、食物や栄養に関する基礎的研究から応用開発や臨床対応までできる食物と栄養のスペシャリストを育て、大学教員や食品企業の研究者や開発者、管理栄養士のリーダーを育成することを目的としています。食品の機能、嗜好性、安全性、健康や疾病と食品の関連などについて有機化学、生化学、分子・細胞生物学、疫学、統計学などの手法を駆使し、教育・研究を行っています。

学位論文題目例

【博士前期課程】

腸内細菌由来脂肪酸代謝産物によるエネルギー代謝制御機構の解析、トレハロース誘導体の培養細胞における生理活性の検証、塩味に影響を与える香辛料成分の検討、新規抽出法により得たキノコ由来ゲル化成分の特性評価

【博士後期課程】

食品安全に対する消費者の認識及び食行動に影響を与える要因の検討、災害時の栄養・食生活支援の国際比較研究—日本における課題とカナダ・台湾花蓮県の取り組みから考える改善策—

■遺伝カウンセリングコース/領域

遺伝カウンセリングは、疾患の遺伝学的関与について、その医学的影響、心理学的影響、及び家族への影響を、人々が理解し適応していくことを助けるプロセスです。情報提供と心理社会的支援の両者から構成され、疾患の発生及び再発率の評価のための家族歴及び病歴の解析、遺伝医学や福祉に関する教育、来談者が十分な情報を得て理解した上での自律的選択や来談者のリスクや状況への適応を促進するためのカウンセリングが含まれます。当コース/領域では、広汎な分野で活躍できる優れた認定遺伝カウンセラーを養成する教育と、遺伝カウンセリングに関わるさまざまな分野の研究を行っています。また、博士後期課程では、遺伝カウンセリングの指導者育成を行います。

学位論文題目例

【博士前期課程】

悲嘆経験者の支援における認定遺伝カウンセラーの困難克服プロセスについての研究、22q11.2欠失症候群の患者もしくはその家族に対する包括的な支援の現状と課題 遺伝カウンセラーの経験の語りから、遠隔遺伝カウンセリングの実践に関するインタビュー研究、遺伝カウンセリングのクライアント支援におけるヘルスリテラシーの意義

【博士後期課程】

医療従事者のゲノムリテラシー向上における認定遺伝カウンセラーの役割—クライアントの適応支援の協働者として—、クライアントの視点からみる遺伝カウンセリングにおける「共感」の概念について、遺伝性疾患のある人に対する長期的支援のあり方—認定遺伝カウンセラー®の役割—

理学専攻

<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/sci/index.html>

前期課程	数学コース	物理科学コース	化学・生物化学コース	情報科学コース
後期課程	数学領域	物理科学領域	化学・生物化学領域	情報科学領域

特色

数学、物理科学、化学・生物化学、情報科学の各分野とその周辺領域に関して、幅広い基礎知識と高度な専門性を有する学生を養成することを教育目標としています。研究では、理学の基礎研究を基盤としつつ、境界領域や学際領域における応用研究にも取り組んでいます。

■数学コース/領域

解析学・幾何学・代数学などの数学の専門分野における高度で体系的な知識を習得し、それをもとに自ら独創的な研究を行い、数学の発展への貢献や様々な領域において活躍出来る人材の育成を行います。

学位論文題目例

【博士前期課程】

AES暗号の特徴と安全性について、公開鍵暗号とAES暗号の解読計算量の比較を踏まえた適切な鍵長の検討、印象評価における評価の復元方法、位数pqのbi-skew braceの特定、分布型時間遅れをもつパーガーズ方程式の半群理論を用いた研究、ホインの微分方程式の解について、qホイン方程式の退化について、The hard square shiftの損失関数の安定性について、[1:1]型 quadrirationalなYang-Baxter写像と独立性保存則の関係性について、バンド手術による絡み目解消経路の特徴付け

【博士後期課程】

Representation theory of compact quantum groups based on operator algebras and its application

■物理科学コース/領域

素粒子理論、素粒子実験、宇宙物理学、数理物理学、ソフトマター物理学、表面物理学、量子情報物理学、スピントロニクス実験、更には中性子散乱を用いた強相関電子系の解析・固体物性など、物理学の様々な分野において最先端の理論的研究、および実験的研究を行うことができます。また、本学の特長である少人数環境を生かしたきめ細やかな教育・研究指導を受けることができます。

学位論文題目例

【博士前期課程】

格子ボルツマン法による液滴の動力学の研究、大統一理論における陽子崩壊抑制機構、イジング模型とボルツマンマシンとその周辺、損失がある微小共振器と2準位原子系を用いた量子相関の研究

【博士後期課程】

ベクトル型媒介粒子モデルによる暗黒物質探索の研究、強磁性超伝導候補物質RET2B2Cの研究、シンプルなモデルによる切り紙構造の力学特性

■化学・生物化学コース/領域

多様な物質の構造と性質、合成と反応、機能と現象の解明に重点を置いた分子レベルの先端研究を行います。物質科学、材料科学、生命科学などの幅広い観点からの研究活動を通じ、化学の発展と未来の社会に貢献する高度な研究能力を養います。

学位論文題目例

【博士前期課程】

界面活性剤を主体とした複合ゲルの構築と金ナノ粒子回収への応用、鉄酸フッ化物単結晶薄膜の作製とマルチフェロイック物性、STING経路調節作用を有するステロール誘導体の構造活性相関研究と作用機序解析

【博士後期課程】

オレフィンの光ペルフルオロアルキル化の開発と機械学習による反応条件最適化、含窒素有機分子がTiO₂(110)単結晶表面に及ぼす影響に関する研究

■情報科学コース/領域

人工知能からネットワーク、ヒューマンコンピュータインタラクションやアルゴリズム、量子コンピューティングなど現代社会の基盤技術である情報科学の幅広い分野をカバーし、それぞれの分野で最先端の教育、研究を行っています。博士前期課程では、実際に未知の研究を行い、社会で活躍していく力を身につけます。また、博士後期課程では、自ら中心となって世界最先端の研究を行い、情報科学の発展に寄与していきます。

学位論文題目例

【博士前期課程】

オンライン会議における画面共有中のプライバシー保護システムの開発、食用金粉を用いた可食回路制作のためのマテリアルおよびノズル検討、代表性をもつ日本語CCGツリーバンクの自動構築と評価、二つの時系列データの関係を記述する自然言語文生成、システム操作動画から要約一枚画を半自動生成するシステムの提案、LFSの手法による依存型意味論の経験的検証、拡張イジングマシンの求解性能の解析、高解像度再解析データを用いた竜巻の進行方向を決める環境風の解析、人間用衣服単一画像からの小型人形用衣服デザイン支援、有向グラフによるマンハッタン積のスペクトル、中国語と日本語の同形異義語の意味の違いの可視化、1枚のイラスト画像からの3Dモデル再構成

【博士後期課程】

Real-world understanding based on predictions with physical properties (物理特性をふまえた予測に基づく実世界理解)、Elucidating Brain Information Processing Mechanisms in Response to Sequential Stimuli、Secure Configuration Management for Personalized Data Services in Cloud Environments、Secure and Private Data Collection and Application、An Application of Fluctuation Moments of Random Matrices to Statistical Data Analysis、Text Data Visualization through Feature Extraction and Recommendation

共創工学専攻



<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/te/index.html>

前期課程

特色

本専攻には、さまざまな専門分野が集結しています。複数の分野をデータサイエンスに基づいて協働させることにより、新たな視点が発見されることが期待されます。

設置の背景と目的

社会は大きく変化し、経済発展だけでなく様々な社会の要請に応える必要があります。そのためには、多様な「知」とともに多角的な「視点」が必要とされ、ジェンダーに関わらない多様な人材養成が必要となります。モノづくり、技術の創造、イノベーションには特にこの考え方が重要ですが、工学系分野では日本でのジェンダーギャップは極めて大きく、この解消が喫緊の課題となっています。工学系での専門的立場における女性人材のニーズが高まる中、本学では2024(令和6)年度に「文化」「社会」の知を「工学」と協働させ、安全、安心、快適な社会のための技術の構築と技術を応用した文化の創造を目指す共創工学部を立ち上げました。この理念を持ちつつ高度な技術と知識、さらに実践力を併せ持ち、リーダーシップを発揮できる専門家を育成する高等教育機関として、2026(令和8)年4月に博士前期課程「共創工学専攻」を設置しました。

本専攻で学べる専門分野

人間、環境、文化情報の3つのカテゴリーに大別されます。

人間:人間工学、健康科学、自然人類学、言語情報学、バイオマテリアル、生活機能材料、生活工学、認知科学 など

環境:水環境工学、建築環境工学、人間環境工学、設計デザイン、地理情報学、人文地理学 など

文化情報:情報科学、文化情報工学、マルチメディア、データベース、舞踊と工学、建築史学、デザイン工学 など

カリキュラムの特徴

共創能力、専門力、実践力の3つの力を順に積み上げていくカリキュラムが組まれています。共創能力とは、工学とデータサイエンス、人文学・社会科学の専門分野を協働させ、新しい技術や文化を工学的手法によって創造することができる能力です。専門力とは、自らの専門分野において、高度な知識と技術を修得し、その分野でリーダーシップを発揮できる専門家になり得る能力です。実践力とは、社会ニーズに対応でき、かつ修得した高度な専門知を社会実装させることができる能力です。これらを学ぶための科目が、共創基礎科目群、専門科目群、専門実践科目群の3つに分類されています。共創基礎科目群では、共創能力とは何かを理解するとともに、工学分野での社会共創の基礎を学びます。専門科目群では、高度な知識・技術、共創する学術系知識を修得するために、工学系科目、工学と共創する学術系科目とその演習科目を学びます。専門実践科目群では、工学と人文学・社会科学を高度に協働させ、社会実装する実践的研究に取り組む演習科目等により、共創工学の素養を高め、主体的・協調的な学びの態度を涵養します。このカリキュラムに取り組んでもらうことにより、3つの力を高度に備えた人材を育成し、実社会で活躍できる人材をより多く輩出することを目指します。

生活工学共同専攻



<https://www.dc.ocha.ac.jp/m/hce/index.html>

後期課程

特色

理工系女性人材は未だ不足している状況であり、高度な理工系専門知識を有する女性人材の育成が強く求められています。特に、生活者の視点をもった女性研究者・技術者を育成し、活躍させることは、今後の日本の産業界を支える原動力となり得るといえます。生活工学共同専攻では、工学諸分野の基礎から応用まで幅広く理解した上で、人間生活における諸課題を柔軟に捉えて研究する能力を有する女性人材の育成を目指しています。本専攻では、奈良女子大学と教育研究資源を互いに有効活用し、共同で教育プログラムを運営しています。

生活工学とは

近年、社会整備が進んだ国々では、従来、焦点が当てられてこなかった子どもや女性、高齢者、障害者などに対し、技術の目が向きつつあります。しかし、これまでの工学技術は、大量生産、産業振興、社会基盤整備などを目的としてきたものであるため、これまで工学が対象としてこなかったユーザーに対しては、必ずしも有効な手法ではありません。あらゆる人に焦点を当て、どこでも誰にでも使える技術を活用し、すべての人々が質の高い暮らしを送ることを目指す工学が「生活工学」です。生活する人の視点から技術を捉え直し、新しい価値を創造し、人と暮らしを中心としたモノづくり・コトづくりを実践します。科学技術にライフスタイルを合わせるのではなく、ライフスタイルを含めた科学技術のあり方を模索します。

求める人材

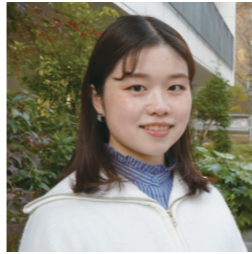
人間と生活環境に関わる現実の諸課題に強い関心があり、生活工学的観点から課題解決に取り組む意欲・能力をもつとともに、研究成果の提案・還元を通じて社会に貢献する高い志を有する人材を育成します。博士後期課程では、本学大学院博士前期課程修了者のみならず、他大学院関連分野の博士前期課程修了者、修士の学位(またはそれと同等以上の学力)をもつ社会人を求めます。特に社会人の積極的な受入れのために、女性のライフイベントに配慮した長期履修制度を設けています。

研究テーマ例（前期課程＋後期課程）

共有トイレにおける男女の利用心理・行動面に関する考察・Web調査からみた男女差 -、駅商業施設へのプレイスアタッチメント、床振動を利用した身体活動量の推定：寝室への導入に向けた標準的な材料と方法の開発、慣性センサとスマートインソールによる行動認識およびエネルギー消費量の推定、足底圧情報を用いた身体活動の分析方法、紫外線と塩素の併用による大腸菌不活化機構の検討、天然有機高分子凝集剤による微生物除去効果、小規模下水処理場での太陽光発電導入策に対するデマンドレスポンスの設計と有効性評価、界面活性剤の会合がPVAゲルの膨潤に与える影響

※生活工学共同専攻博士前期課程は、2025(令和7)年10月入学から学生募集を停止しました。

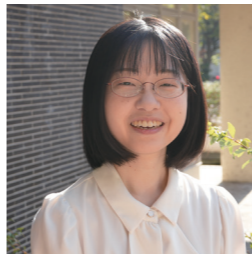
在学生の声



比較社会文化学専攻
舞踊・表現行動学コース 博士前期課程1年

中山 広理

私はダンスのキュレーションを研究テーマとし、ダンス作品と社会、観客をつなぐ制度について興味を持っています。ダンスを専門分野として体系的に学べる大学院は非常に希少であり、同じ関心を持つ仲間と密度の高い学びを共有できる点が大きな魅力です。授業やゼミでは教員との距離が近く、活発な議論を通して研究の視野が大きく広がり、日々新たな発見を重ねています。



人間発達科学専攻
発達臨床心理学コース 博士前期課程1年

松木 ひかり

私は、若年層の市販薬乱用の開始から回復に至るまでの心理・社会的プロセスについて研究を行っています。発達臨床心理学コースでは、ロールプレイやディスカッションを行う授業が多く、心理療法やカウンセリングの技法について実践的に学ぶことができます。先生方からは知識と臨床経験に基づく丁寧な指導をいただき、研究にも実習にも安心して取り組むことができています。



ジェンダー社会科学専攻
博士前期課程1年

二俣 陽香

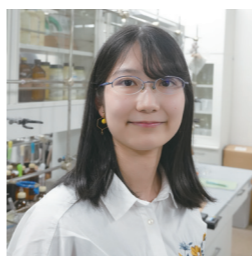
地理総合の授業を通して、高校生の地理に対する意識がどのように変化するかについて研究しています。本専攻では、ジェンダーに関する基礎的な内容から学び、実践的な授業を通して修士論文執筆に必要な調査方法を習得できます。少人数制によるきめ細かな指導のもと、学内外から多様な学生が集い、留学生も多く在籍する環境で学びを深められます。



ライフサイエンス専攻
生命科学コース 博士前期課程1年

井原 榛香

千葉県館山市にある学内共同教育研究施設の湾岸生物教育研究所でウミユリの研究をしています。ウミユリはウニやヒトデの仲間であり、恐竜の登場よりかなり前から存在するとても綺麗な生きた化石です。現在、生きたウミユリを使って研究を行っている大学はお茶大だけです。先生方がとても優しく、疑問や不安も気軽に相談でき、興味を持ったことに挑戦できるため、日々楽しく学んでいます。



理学専攻
化学・生物化学領域 博士後期課程2年

武田 史

私は有機化学を専攻とし、合成した新規化合物の構造解明や、不斉有機触媒としての機能評価に取り組んでいます。お茶大生は深く思考し自分の意見を明確に発信する人が多く、ゼミ以外の場でも研究について活発に議論することができます。少人数で教員との距離が近いことや、研究費支援や奨学金などの経済的支援が充実していることも魅力です。



生活工学共同専攻
博士前期課程1年

藤崎 陽菜

ヒートアイランド現象への対策を目指し、緑化による冷却効果について研究しています。ゼミでは先生の丁寧な指導のもと、自身の関心を大切にしながら研究を深めています。また、専門外の授業も履修でき、幅広い知見を得られます。ゼミを超えた交流も魅力です。友人とコンペに挑戦したり、他ゼミの先輩に就職活動の相談をしたりできるあたたかな雰囲気があります。

※学生の所属及び学年は2026年3月現在

副専攻プログラム

大学院では専門性を深めることはもちろんですが、同時に視野を広げることも重視しています。そのために、各専攻の専門教育の充実を図るだけでなく、領域横断的な副専攻プログラムを設けています。

■ 男女共同参画リソース・プログラム

男女共同参画アドバイザーや、各地の男女共同参画センター及び女性センターの専門員や管理職、JICAなどの国際機関の女性に関わる案件の専門家など、実務家育成を目的としています。さらに、研究者であれば、大学及び研究機関での男女共同参画やセクシュアル・ハラスメントに関する見識のある人材を、文化マネジメント専従の専門家に対しては、ジェンダー視点からのアイデアによる企画展示ができる人材を、そして企業においては、広く人事・キャリア形成のアドバイザーや男女共同参画の視点で製品・サービスの研究・開発ができる人材を育成することを目指しています。

キャリア副専攻

キャリア副専攻は、博士前期課程修了後に高い専門性を活かすための実践的な就業力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。現代社会は、不確実性が高く、将来の予測が困難であるため、職業生活において求められる知識は高度化・複雑化しています。本副専攻は、高度な専門性を備え、活躍するリーダーの多くが博士前期課程を修了（修士号を取得）しているという世界的な動向を踏まえて設けられています。

■ キャリア副専攻【公務員】

博士前期課程修了後に国家公務員などの公務員を志す大学院生を対象としています。経済、政策、法制度、英語などの実務的な知識やスキルの習得を通じて、高い専門性を実務に活かす実践力を育成することを目的としたカリキュラムとなっています。公務員として必要な理論・知識の学修を基本とし、その上で選択科目として行政に関連する領域を選択的に学びます。例えば必修選択科目「行政特論」では、憲法、民法、行政法を学ぶとともに公務員という仕事への理解を深めます。このようなキャリア副専攻【公務員】での学修を通じて、行政に携わるための幅広い実務的な知識と視点、倫理観を持ち、公の立場として社会に貢献する人材を育成することを目指しています。

■ キャリア副専攻【消費者科学】

消費生活アドバイザー資格保持者が「指定大学院」において所定の科目を履修し、修士号を取得した場合に付与される「マスター消費生活アドバイザー」資格を目指す大学院生を直接の対象としています（本キャリア副専攻は「指定大学院」指定済み）。これからの消費社会を牽引するには、生活者視点を持ち、ジェンダー平等の理念に基づく持続可能で公正な市民社会の構築を見据えた大学院修士レベルの高度な専門性が必要です。「消費社会とジェンダー論」「消費者市民社会と消費者政策」「金融教育論」などの科目によって、消費者問題に関心のある院生、消費者行政関係者、消費者教育に携わる社会人学生などにも、広く教育・研究の機会を提供します。

■ 日本文化論プログラム

本学大学院では、大学院修了後に国際的な場で社会貢献を行う人材（留学生を含む）の育成を積極的に推進しています。こうした学生が日本文化と日本的思惟方法を理解することは、日本文化理解の適切な国際標準の形成に資するでしょう。さらに、グローバル化に伴う価値一元化傾向に対する批判的視点を積極的に提示し、それを通じて多様な文化の共生を促進する一助となることも期待されます。

■ キャリア副専攻【産学連携】

博士前期課程修了後の進路として、主に企業等に就職することを考えている大学院生を対象としています。企業、研究機関等、学外ステークホルダーと連携し、科学技術イノベーションに係る人材として不可欠な知的財産、特許、ベンチャー、MTA等について学修するとともに、あらゆるキャリアの基盤となる実践的な能力を身に付けることを目的としたカリキュラムとなっています。様々なステークホルダーとの協働を通じて、女性が、研究者や技術者をはじめ科学技術イノベーションを担う人材として一層活躍できるように、産学官協創によるイノベーション・エコシステムを構築し、社会をリードしていく人材を育成することを目指します。



共通科目

博士課程には専門科目だけでなく、すべての専攻の学生向けに共通科目を設置しています。共通科目は、博士前期課程、後期課程いずれの学生も履修することができます。副専攻プログラム等、専門教育に限らない幅広い範囲の科目が設定されています。特に特色のある科目として以下のキャリア開発特論、グローバル女性リーダー特論が挙げられます。また、英語アカデミック・ライティング、英語アカデミック・プレゼンテーションといった国際的に活躍する研究者にとって必要な英語で論文を書き、発表をするための訓練を行う科目を開講しており、多くの学生が受講しています。各科目はただ講義を受けるだけでなく、自らの研究についての発表を行う等、実践的な内容となっています。

■ キャリア開発特論

「博士人材としての能力開発」を目的として、基礎編と応用編の2つの授業（各2単位）が開かれます。修士号を持って社会に飛び出す院生も対象とします。基礎編は、これまでの自分、今の自分、これからの自分について見直し、目指すべき自分の姿を明確にし、生涯にわたる生活、研究、労働のビジョンを作り、具体的なアクションプランを立てるワークショップスタイルの集中講義です。実践編は、ビジネスで活躍する方たちや博士人材として活躍しているOGなどとの交流の機会を提供し、高度な専門性を持った人材として社会における立ち位置を理解します。また英語におけるプレゼンテーション・スキル、グローバル・スタンダードとローカル・スタンダードの競合と共存など、グローバル人材としてのコミュニケーションスキル向上を目指します。

■ グローバル女性リーダー特論

社会のあらゆる分野において中核的役割を果たす女性リーダーの育成を目的とし、お茶大生に合わせたディスカッションベースの講義を行っています。基礎編と応用編（各2単位）があります。一人ひとりがリーダーシップを発揮することで組織や社会が成り立っていること、リーダーは特別な人だけがなるものではないこと、リーダーシップのあり方は多様であることを理解するとともに、グローバル人材として活躍するための心構えやグローバル社会についての理解を深めていきます。学生と講師が一体となって、「リーダーとは?」「グローバルとは?」といったテーマについて語り合い、楽しみながら講義を進めていきます。各講座のテーマは開講する年度により異なりますので、関心の高いテーマの講座から受講することが可能です。

長期履修学生制度

職業を有する等の事情により、一般の学生に比べて年間に修得できる単位数が限られ、標準修業年限で修了することが困難な学生を対象として、長期履修学生制度を導入しています。そうした事情にある学生は、博士前期課程の場合は2年間で設定されている修業年限を3年間又は4年間で履修し、博士後期課程の場合には3年間で設定されている修業年限を4年間から6年間で履修し、課程を修了することを認められることがあります。「職業を有する等」とは、有職者（正規雇用、臨時雇用〔パートタイムなど正規に近い勤務時間の者〕、自営業等）、家事、育児、介護、障がい等の事情にあることをいいます。長期履修学生として認められた場合の授業料は、「定められた授業料の年額」に「標準修業年限」を乗じて得た額を「許可された修業年限」で除して得られた額となります。

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)採択事業

■ 次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)

博士後期課程学生による挑戦的・融合的な研究を支援し、優秀な博士人材が様々なキャリアで活躍できるように研究力向上や研究者能力開発を促すプログラムです。本プログラムでは、世界の人々と協働し、生涯にわたりより良い未来の創造に向けた変革を起こす「革新」×「共創」力を備えた人材の育成を目指します。本学では国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)の次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)に採択されたことに伴い、「『革新』×『共創』で未来を拓く女性博士育成プロジェクト(T-COCOA)」を実施しています。採用者には「研究専念支援金」及び「研究費」が支給されます。また、研究成果を社会で実践できるような、あたらしいキャリアパス開発も個別支援することで、修了後のポスト確保につなげていきます。

募集要項、申請期間等の詳細は、ホームページよりご確認ください。

<https://www.cf.ocha.ac.jp/t-cocoa/index.html>



各種奨学金・助成制度(大学院生対象)



◎本学独自の奨学金一覧
<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/scholarship/list.html>

■ 本学独自の奨学金

	基金の名称	授与対象者	奨学金の額	授与枠
博士前期課程	桜蔭会研究奨励賞(予約型奨学金)	本学学部を卒業し、引き続き本学大学院博士前期課程に進学する者(学内進学者)で、学業、人物ともに優れた者	200,000円	20名
	小澤美奈子奨学金(予約型奨学金)	①本学学部を3月に卒業見込みの者で、引き続き本学大学院博士前期課程の理工系分野の専攻に強く進学を志望する者 ②成績、人物とも優秀で、大学又は大学院において修学上経済的支援が必要と認められる者 (①～②のすべてを満たす日本国籍を有する者)	500,000円 (1年あたり250,000円)	若干名
	竹村和子奨学金	本学大学院博士前期課程に在学する者で、成績顕著な者	50,000円	1名
	松本千代栄奨学金	本学文教育学部芸術・表現行動学科卒業時に優れた卒業論文を提出した者で、本学大学院博士前期課程において舞踊・表現行動学関係の研究に従事し、優れた研究が見込める者	100,000円	1～2名
博士後期課程	大学院生(博士後期課程)奨学金(予約型奨学金)	本学大学院博士前期課程を修了し、引き続き本学大学院博士後期課程に進学する者(学内進学者)で、学業、人物ともに優れた者	300,000円	10名
	大学院研究科奨学金	本学大学院博士後期課程において研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	1～2名
	菅聡子奨学金	本学大学院博士後期課程において日本語日文学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	250,000円	1～2名
コース・専攻等、共通	創立120周年記念事業国際交流振興基金・桜蔭会国際交流奨励賞	海外留学支援事業	本学大学院博士後期課程修了者又は在学生で、成績優秀かつ将来が嘱望される者のうち海外研修を希望する者	1～2名
		アジア女性研究者支援事業	本学学生として留学後、アジアの各地域において研究者又は各界の指導者として活躍し来日研修を希望する者	若干名
	海外留学特別奨学金	①大学間交流協定に基づく交換留学派遣学生等として留学(1年を限度)し、留学先の大学に留学期間中の授業料を納付する者 ②留学期間中、本学の授業料免除の全額免除を受けていない者 (①～②のすべてを満たす者)	本学の授業料の年額又は年額の2分の1に相当する額が上限	若干名
	高田弘子奨学金(予約型奨学金)	本学大学院博士前期課程又は博士後期課程に在学する者で、帰国後も研究を継続する意思を持って海外研究留学を行う予定又は行っている者	500,000円	前1名・後1名
	富永ふみ教育基金	本学正規課程の私費外国人留学生で発展途上の国籍を有し、成績、人物ともに優秀であり、経済的支援を必要とする者	300,000円	1名
	池田摩耶子記念奨学金	1. 本学大学院において国際的な研究に従事し、成績顕著な者 2. 学部、大学院に私費で在学する外国人留学生で成績顕著な者	200,000円	若干名
	池田重記念奨学金		200,000円	
	竹村和子海外研修奨学金	本学大学院に在学する者で、成績顕著な者	1年目2,000,000円 2年目1,000,000円	1名
	自然地理学奨学金	本学文教育学部人文科学科地理学コース及び大学院に在学する者で、自然地理学関係の研究に従事し、優れた研究が見込める者	国内調査20,000円 又は海外調査40,000円	3名
	湯浅年子記念特別研究員奨学金	本学出身者、在学する者又は附属高等学校出身者で、自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	博士前期課程 月額860ユーロ 博士後期課程(一般給費)月額1,588ユーロ 博士後期課程(研究実習給費)月額1,704ユーロ	1名
	保井・黒田奨学金	自然科学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	30,000円	5名
	数学奨学金	本学出身者又は本学大学院博士前期課程及び学部在学する者で、数学の成績顕著な者	100,000円	1名
	矢部吉禎・矢部愛子奨学金	本学学部または大学院に在学する者で、植物学または数学を学ぶ者のうち、学業成績や研究能力が優秀な者	500,000円	植物3名・数学3名
化学科(宮島直美)奨学金	本学理学部化学科及び大学院に在学する者で、化学の成績等顕著な者	100,000円	前2名・後1名	

	基金の名称	授与対象者	奨学金の額	授与枠	
コース専攻等、共通	食物学奨学金	食物学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	若干名	
	家庭経営学奨学金	家庭経営学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	1～2名	
	被服学奨学金	被服学関係の研究に従事し、その成績顕著な者	100,000円	制限なし	
	宮島直美国際交流基金	理系大学院生派遣事業	パーギシェ・ブッパタル大学での研修留学へ応募し選考された者	旅費等 400,000円	5名
		日韓3女子大学交流合同シンポジウム	韓国で開催する年の梨花女子大学校での発表会へ応募し選考された者	補助費 50,000円	5名
	坂井満子育英奨学金	本学大学院に在学する者で、学業成績が優秀であり、修学上経済的支援が必要と認められる者	半期につき250,000円 ※同一学生に対し年間500,000円までとする	20名	
	中村真里子奨学金	本学大学院博士前期課程1年又は博士後期課程1年に在学する者で、学業成績が優秀であり、修学上経済的支援が必要と認められる者	半期につき250,000円 ※同一学生に対し年間500,000円までとする	6名	
育児支援奨学金	本学の正規学生で本学が設置する保育所を利用する者	保育料から、自治体が提供する認可外保育施設利用料に係る補助金を差し引いた金額	制限なし		

■ 学外奨学金

○ 地方公共団体・民間団体奨学金

地方公共団体・財団法人・民間団体が募集する奨学金制度があります。給付・貸与条件はそれぞれ異なります。

○ 日本学生支援機構奨学金

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)は、「教育の機会均等」の理念のもと、経済的理由で修学が困難な優れた学生等に学資の貸与及び給付を行っています。無利子の第一種奨学金と、有利子の第二種奨学金があります。詳細は、日本学生支援機構ホームページ(<https://www.jasso.go.jp/index.html>)を参照してください。

JASSO奨学金の種別及び貸与月額

種別	第一種奨学金(無利子)	第二種奨学金(有利子)
博士前期課程	5万円、8.8万円から選択※	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円から選択
博士後期課程	8万円、12.2万円から選択	

※博士前期課程の方は第一種奨学金に代えて「授業料後払い制度」を選択することもできます。

JASSO奨学金返還免除制度

大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生が、在学中(貸与期間中)に特に優れた業績を上げた者としてJASSOに認定された場合、貸与期間終了時に奨学金の全額又は一部の返還が免除される制度があります。学内審査では、専攻分野に関する論文をはじめ、JASSOに関する省令で定める業績を総合的に評価し、JASSOへの推薦の可否を決定します。対象者は以下の(1)、(2)の双方を満たす者です。

- 大学院第一種奨学金採用者で、当該年度中に貸与が終了(満期・辞退・退学等)する者
- 貸与終了時の在学している課程で貸与期間中に特に優れた業績を挙げたと認められる者(必ずしも課程修了は要件としません)

また、以下の要件を満たした場合に、JASSOから博士前期課程に在籍時に貸与を受けた第一種奨学金の返還免除を申請できる制度もあります。なお、(2)の要件を満たすためには、本学での「教職インターンシップ(幼小または中高)」の単位修得が必要です。

申請要件:以下の(1)、(2)の双方を満たす者のうち、教員採用選考試験に合格、大学院修了の翌年度から正規教員として採用される予定の者

- 大学院において、教職課程を履修し専修免許状を取得していること(採用選考等にあたり特別免許状の授与を受ける場合も含む)
- 大学院において、学校等での実習を必須とする科目を1単位以上取得し、学校等での実習の実時間を概ね30時間以上経験していること

お茶の水女子大学大学院 入学科・授業料

- 入学科 282,000円(予定額)
 - 授業料 半期分 267,900円(年額 535,800円)(予定額)
- 入学時及び在学中に授業料の改訂が行われた場合は、改訂時から新授業料が適用されます。
 (注)ライフサイエンス専攻遺伝カウンセリングコースについては、認定遺伝カウンセラー資格取得に当たって、遺伝カウンセリング実習研修費が別途、必要となります。

国際交流

—お茶の水女子大学から世界につなぐ教育と研究—

◎お茶大から世界へ
<https://www.ocha.ac.jp/intl/studyab/index.html>



海外での研究活動や協定大学への留学を支援

派遣プログラム及び助成制度

派遣プログラム

- 大学間交流協定に基づく交換留学
- 海外語学研修(チェンマイ大学、カリフォルニア大学デービス校、開南大学、マギル大学、ハル大学、カモーンカレッジ、啓明大学校、建国大学校 他)
- 協定校主催短期研修(梨花女子大学校、ロンドン大学東洋・アフリカ研究学院、キャンパスフランス、チェンマイ大学、ウィーン工科大学 他)
- 理系学生対象短期研修(カリフォルニア大学デービス校 他)
- 海外における日本語教育実習プログラム
- バーギシェ・ブッパータル大学研修留学大学院生派遣事業
- グローバル協力センターによる途上国研究・国際協力分野における海外調査支援

■ ジェンダー研究領域の交換派遣プログラム(アジア工科大学院大学、ノルウェー科学技術大学)

助成制度

- 「湯浅年子記念特別研究員奨学基金」による海外派遣
- 「お茶の水女子大学120周年記念桜蔭会国際交流奨励賞」による海外派遣

※上記の内容は変更の可能性があります。
 ※上記以外に、交換留学、短期留学等の留学形態や期間別の大学独自の給付型奨学金があります(P15参照)。また、文部科学省、日本学生支援機構、地方自治体及び民間財団等による給付型奨学金もあります。

大学間交流協定締結大学97校 (2026年1月1日現在)

協定大学所在地



◎海外協定校
<https://www.ocha.ac.jp/intl/900/header-menu/partners/index.html>



大学院留学について

大学院留学では、大きく二つの学びの機会が得られます。一つ目は、現地大学院の授業を履修し、各国の研究動向や専門知識を体系的に深めることです。授業を通して、国内では得られない視点や研究方法に触れる点は大学院留学ならではの魅力です。二つ目は、ご自身の研究テーマを海外でさらに発展させることです。可能な活動は派遣先大学や教員の方針によって異なりますが、渡航先の指導教員やゼミ生との共同研究、ゼミ発表への参加、研究指導の受講など、研究者としての視野を広げる貴重な機会となります。なお、どのような研究を進めるのか、そして留学を研究計画のどの位置づけに置くのかは、お茶の水女子大学の指導教員と十分に相談したうえで決定することが重要です。留学が研究の深化にどのように役立つのかを踏まえて、早めに計画を立てることをおすすめします。

留学スケジュール例

博士前期課程1年目に申請し、2年目後期から3年目にかけて留学する(博士前期課程を3年かけて修了する)場合。

	4月～7月	夏季休暇	9月～10月	11月～1月	2月～3月
1年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ 留学説明会参加 ■ 国際イベント参加 ■ 国際教育センターへの個別留学相談 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 留学に関する情報収集 ■ 留学目的の明確化・具体化 ■ 語学能力試験受験 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第1次選考(書類選考) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 第2次選考(面接選考) ■ 推薦候補者として決定 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 留学先大学への応募書類の提出→受入許可
2年次	<ul style="list-style-type: none"> ■ 事前研修出席 ■ パスポート・ビザ取得、渡航準備 	留学開始			
3年次	留学		<ul style="list-style-type: none"> ■ 留学先での単位認定 ■ 帰国報告書の提出 ■ 帰国報告会で発表 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際交流活動など 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 博士前期課程修了

学生寮

大学から徒歩3分の場所に、大学院生向けの寮「小石川寮」があります。例年2月に学生からの申請に基づき、入寮許可を決定します。また、2022年に開寮した敷地内の寮「音羽館」も大学院生を一部受け入れており、小石川寮との併願も可能です。

◎学生寮について
<https://www.ocha.ac.jp/campuslife/lodgings/index.html>



収容定員	■小石川寮：77名 ■音羽館：450名
入寮資格	実家から大学まで1時間30分以上離れていること
入寮判定	経済的困窮度の高いものから書類選考の上、許可
寄宿料	■小石川寮：月額4,300円(他に光熱水料及び自治会、共益費等) ■音羽館：月額48,800円(他に光熱水料、保険料、インターネット使用料、共益費等)
居室設備(全室個室)	■小石川寮：机、椅子、ベッド、クローゼット(小)、吊り棚・エアコン *トイレ、洗面所、風呂共同(9.45㎡) ■音羽館：洗面化粧台、ユニットシャワー、トイレ、ミニキッチン、冷蔵庫、電子レンジ、エアコン、ベッド、机、衣類収納棚(14.5㎡)

※小石川寮は、2029年3月をもって廃止を予定しています。

研究支援

育児支援…女性のキャリアとライフコースの両立

お茶の水女子大学では、2005年4月1日に、国立大学法人では初めての附属学校部の所属となる学内保育所「いずみナーサリー」を設置しました。保育室には、無垢の木材で作られた温もりのある家具や大型遊具を設え、冬場でも乳幼児が素足で過ごせるよう、床暖房を入れています。また、四季折々に自然豊かな学内へのお散歩や、隣接している附属幼稚園の園庭での外遊びなど、都心にありながら、からだを思いきり動かして遊ぶ屋外環境もあります。女性研究者支援の場であることはもちろん、質の高い保育を行う乳幼児保育施設であり、同時に保育研究を行う場でもあります。なお、本学の正規学生は、いずみナーサリー保育料の半額相当の補助を受けられる「育児支援奨学金」制度を利用することができます。

◎いずみナーサリー
<https://www.fz.ocha.ac.jp/izumi/>



◎いずみナーサリーの概要

定員	1日26名
入所対象児	<年齢>生後6か月～4月1日現在で満3歳未満 <保護者>大学関係者(学生・教職員・卒業生・修了生・その他)
保育時間	月～金 8:30～17:30
利用形態	月ごめ保育(就労・研究のニーズに合わせた利用日数選択型) 時間預かり保育
保育料	利用日数・方法に合わせた料金設定 (本学の学部生・大学院生は保育料の一部を育児支援奨学金として受けられる場合があります)



図書館

図書館は、快適な学習空間と充実したサービスによって、多様な研究スタイルを支援します。

◎附属図書館
<https://www.lib.ocha.ac.jp/>



複写物・図書取り寄せ費用を大学負担に

これは、本学が他大学に先駆けて実施した学生への研究支援の一例です。本学に所蔵のない資料の現物や複写物を取り寄せる際の料金を大学が負担します。図書の返送料については従来自己負担でしたが、年間1人3冊まで往復の送料を大学が負担しています。

研究スペース

図書館2階奥に「大学院生用研究スペース」、1階にはプレゼンテーションルームなどのセミナーや研究発表のためのスペースを用意しました。また、論文作成に有用なデータベースなどを快適に利用できる環境を整えています。


人間文化創成科学研究科・全学共用研究棟

全学共用研究棟には2階にブース式の研究スペースがあり、研究に集中する環境が整備されています。また、1階入り口正面にあるラウンジは、研究の合間に友人とおしゃべりしたり、グループディスカッションを行ったりと広く利用されています。



トランスジェンダー学生受入れについて

本学の「学ぶ意欲のあるすべての女性にとって、真摯な夢の実現の場として存在する」というミッションから、自身の性自認にもとづき、女子大学で学ぶことを希望する人を2020年度の入学から受け入れています。戸籍(又はパスポート)の性別と性自認が異なっている方については、入学後の学生生活をサポートするために、通称名や更衣室の使用などについて、あらかじめ情報を提供したいと考えていますので、事前にご相談ください。事前申出の詳細は、ホームページの入試情報及び各学生募集要項をご覧ください。

その他の研究支援	
<p>■ 研究機能強化のための戦略的研究組織</p> <p>○グローバル女性リーダー育成研究機構</p> <ul style="list-style-type: none">グローバルリーダーシップ研究所 ジェンダー研究所 ジェンダード・イノベーション研究所 <p>○総合知開発研究機構</p> <ul style="list-style-type: none">コンピテンシー育成開発研究所 理系女性育成啓発研究所 サイエンス&エデュケーション研究所	
<p>○ヒューマンライフイノベーション開発研究機構</p> <ul style="list-style-type: none">ヒューマンライフサイエンス研究所 人間発達教育科学研究所	
<p>○サステイナブル社会実装機構</p> <ul style="list-style-type: none">SDGs推進研究所 湾岸生物教育研究所	
<p>○研究所・センターについて</p> <p>https://www.ocha.ac.jp/attached/index.html</p>	

■ 中長期研究インターンシップ

企業の研究現場における長期間にわたるインターンシップです。実際の業務に取り組む経験を通じて、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を養成することを目的としています。

○ジョブ型研究インターンシップ【対象:博士後期課程学生】

産業界と大学が協力して実施している長期、有給、ジョブ型のインターンシップ制度です。文部科学省のガイドラインに基づき正課の科目として単位認定されます。本学では授業「プロフェッショナル・インターンシップ」の一環として実施されています。

○産学協働イノベーション人材育成協議会(C-ENGINE)研究インターンシップ【対象:博士前期・後期課程学生】

C-ENGINEに参画する企業で行う、実践的な中長期研究インターンシップです。普段研究室では得ることができない様々な経験を通し、学生が1人の研究者として身に付けるべき汎用的スキルの習得・向上を支援しています。

■ 大学院で働きながら学ぶ制度

○ティーチング・アシスタント制度

大学院生を学部又は博士前期課程の講義、実験、実習、演習などのアシスタントとして雇用する制度です。

○リサーチ・アシスタント制度

博士後期課程に在籍する学生を、指導教員の研究アシスタントとして雇用する制度です。

■ 本学独自の研究員制度

○リサーチフェロー制度

本学での学位取得者（課程博士）を対象に、公募により採用します。自主的自律的に研究する機会を与え、多様なキャリア・パスの確保を図る、ポスドク・プログラム制度です。

○研究院研究員制度

本学で学位（博士）を取得した研究者で常勤の職を有しない方等を対象に、公募により受入れます。研究者の育成を行い、併せて本学基幹研究院の研究面での活性化と情報発信の活性化を促すことを目的とした制度です。

○特別研究員

（**みがかずば研究員**）制度

優れた女性研究者の継続的な研究活動を支援するとともに、女性研究者が研究中断後に円滑に研究現場に復帰する機会を提供します。

就職支援の取組

○学生・キャリア支援センター
<https://www.cf.ocha.ac.jp/career/>



○就職先
<https://www.dc.ocha.ac.jp/about/accession.html>



本学のキャリア支援は、大学院で身に付けた力を発揮し、学生一人ひとりが希望する進路を実現できることを目指しています。キャリア選択や就職活動に役立つ各種講座、企業との交流会、公務員や教員を目指す学生には筆記試験や面接試験に向けた講座などを開催し、それぞれの進路実現を総合的にサポートしています。キャリアコンサルタントが個別に相談に応じるキャリア相談も実施しており、多くの学生が利用しています。また、研究プレゼンテーションやデザイン講座など、アカデミア・企業いずれでも活用できるスキルの向上を目的とした講座や、女性博士OGの講演会も実施しています。女性博士OGの講演会は、OGとのネットワークや博士前期・後期課程の在学生同士の交流の場にもなっており、多様なキャリア選択、研究と生活の両立について実体験が聞けると好評です。さらに、本学は「博士人材育成コンソーシアム」に加盟しており、加盟大学が提供する100を超えるキャリア教育支援プログラムや企業とのマッチングイベントに無料で参加することができます。このように、大学院の研究の中で獲得した専門性とスキルを幅広い分野で発揮し、活躍できるよう学生の皆さんをサポートします。

■ ワークインプログレス ～女性博士人材と企業等との交流イベント～

博士後期課程およびポスドクを対象としたキャリア形成・就職支援の一環として、博士人材と企業関係者が自由に情報交換を行い、積極的にお互いを知り合える場を提供しています。企業などの研究開発や事業構造、業務の実態について話を聞くことで研究者に求められていることを理解し、将来のキャリアビジョンを考え、アカデミアだけでなく企業での活躍の場を広げるきっかけづくりとなるような充実した支援を提供しています。このワークインプログレスは、「『革新』×『共創』で未来を拓く女性博士育成プロジェクトT-COCOA」の選択必修科目にもなっています。

主な就職先

比較社会文化学専攻

■日本語日本文学コース

文部科学省、厚生労働省、東京都庁、青森県庁、高知県教育委員会、東京都公立大学法人、恵泉女学園中学校・高等学校、静岡県立高等学校、群馬県立高等学校、日本芸術文化振興会、防府市文化振興財団、KDDI総合研究所、乃村工藝社、NHK出版 等

■アジア言語文化学コース

東京都庁、セメント協会、東京貿易ホールディングス、ユニアデックス 等

■英語圏・仏語圏言語文化学コース

厚生労働省、国立国会図書館、東京国税局、東京大学職員、福井市役所、静岡県高等学校、学習院女子中・高等科、大妻中学高等学校、講談社、日本電気(NEC)、三井造船システム技研、静岡銀行 等

■日本語教育コース

お茶の水女子大学、東京都立大学、東京大学、岡山大学、獨協大学、早稲田大学、中南大学、釜山外国語大学、タマサート大学、国際交流基金、東京ウエス

人間発達科学専攻

■教育科学コース/領域

【前期課程】公務員(文部科学省、東京都庁、衆議院事務局)、国立大学事務職員、公立小学校教諭、私立中・高等学校教諭、アビームコンサルティング、PwCコンサルティング合同会社 等
【後期課程】大学常勤職(金沢大学、東京学芸大学、専修大学、東京家政大学、聖徳大学、福山公立大学) 等

■心理学コース/領域

【前期課程】一般民間企業(集英社、バンダイナムコスタジオ、日経リサーチ)、公務員(文部科学省、家庭裁判所調査官補、東京都心理職) 等**【後期課程】**大学常勤職(順天堂大学、豊橋技術科学大学、東海大学、山梨大学)、一般民間企業(資生堂、NHKエデュケーショナル、横浜銀行)、公務員(法務省) 等

■発達臨床心理学コース/領域

【前期課程】公務員(家庭裁判所調査官補、法務省心理技官、都道府県的心

ジェンダー社会科学専攻／ジェンダー学際研究専攻

◆前期課程→就職(家庭裁判所調査官、内閣府、総務省、国立国会図書館、長野県庁、横浜市、短大専任講師、高校教員、海外協力隊、リクルートマネージメントソリューションズ、ソニー、日本経済新聞社、時事通信社、沖縄タイムス、富士通総研、日本総研、大和総研、リンクアンドモチベーション、楽天グループ、アンダーソン毛羽友常法律事務所 等)

◆前期課程→本学後期課程進学→大学教員等(茨城大学、岩手大学、立教大学、横浜国立大学、実践女子大学、福岡女子大学、天理大学、神戸学院大学、松本大学、帝京平成大学、ノッティンガム大学、明海大学、立命館大学、同志社

ライフサイエンス専攻

■生命科学コース/領域

【前期課程】産業技術総合研究所、田辺三菱製薬、サーモフィッシャーサイエンティフィック、ADVANTECグループ、日立ハイテック、東京ガス、森永製菓、カンロ、サンエイ糖化、インタージェテクノスフィア、ミルボン、NTTドコモ、NTTデータ、大和総研、キリンホールディングス、日鉄ソリューションズ、日本総研、厚生労働省、横浜雙葉中高 等
【後期課程】理化学研究所、産業技術総合研究所、リコー、コーセー、羊土社、弁理士特許事務所、田園調布雙葉中高 等

■食品栄養科学コース/領域

【前期課程】キユーピー、野村総研、秋田県庁、ヤマサ醤油、東大医学部附属病院、カゴメ、日清オイログループ、小川香料、日本ハム、日清製粉グループ、農林水産省、

理学専攻

■数学コース/領域

【前期課程】株式会社日立製作所、日興アセットマネジメント株式会社、株式会社cozies、NSSLCサービス株式会社、学校法人東洋英和女学院中学部・高等部、日鉄ソリューションズ株式会社、日本生命保険相互会社、PwC Japan有限責任監査法人、群馬県教育委員会 等

■物理科学コース/領域

【前期課程】日本電信電話株式会社、株式会社IHI、日立製作所、日本電気株式会社、三菱電機株式会社、三菱総合研究所、読売新聞社、伊藤忠テクノソリューションズ、アクセンチュア、警察庁、桜蔭学園教諭 等
【後期課程】リコー、東芝、国立がん研究センター、みずほ第一フィナンシャルテクノロジー株式会社、豊田中央研究所、東京都立大学、京都大学、山形大学、茨城大学 等

■化学・生物化学コース/領域

【前期課程】アステラス製薬、コスモエネルギーHD、資生堂、住友化学、第一三共、大日本印刷、DIC、東京エレクトロン、東ソー、トヨタ、フジクラ、富士通、

生活工学共同専攻

住友林業株式会社、TDK株式会社、ENEOS株式会社、花王株式会社、三菱電機株式会社、セイコーエプソン株式会社、デンソー株式会社、日本電信電話株式会社、ソフトバンク株式会社、KDDI株式会社、NTTドコモ、日本アイ・ビー・エム株式会社、富士通株式会社、グーグル合同会社、株式会社クボタ、

トインターナショナルスクール、専門教育出版 等

■思想文化学コース

静岡大学、文部科学省、神奈川県庁、日本マクドナルド 等

■歴史文化学コース

日経BP、朝日新聞社、千葉県立中央博物館、東京都都市づくり公社、日本芸術文化振興会、宮内庁、秋田市、東京都 等

■生活文化学コース

東京都、防災科学技術研究所、学校法人京華学園、東京大学、東京都庭園美術館 等

■舞踊・表現行動学コース

企業一般職及び総合職、中高校教員、短大等の講師、舞踊教師・上演者 等

■音楽表現学コース

音楽科専任教員、神戸市、日本伝統文化財団、放送局 等

理職)、公立・私立病院等の心理職、公立・私立のスクールカウンセラー、教育相談所 等
【後期課程】大学常勤職(佐賀大学、山梨大学、茨城大学、京都文教大学、東京福祉大学)、公務員(警視庁心理職、法務省心理技官) 等

■応用社会学コース/社会学・社会政策領域

【前期課程】法務省、外務省、東京都庁、労働金庫、スルガ銀行、講談社、日本赤十字 等
【後期課程】関西大学、東洋大学、東京理科大学、日本大学、龍谷大学、福岡県立大学、川口短期大学、奈良女子大学 等

■保育・児童学コース/領域

【前期課程】公務員(東京都庁等)、一般企業、保育所保育士、幼小中高の教員、従来の特門職に戻る 等
【後期課程】大学常勤職(お茶の水女子大学、静岡大学、埼玉大学、三重大学、埼玉学園大学、國學院大學、聖隷クリストファー大学、宮崎国際大学等)、幼小中高の教員、従来の特門職に戻る 等

女子大学、神田外語大学、ロシア高等経済学院の教員、国立社会保障・人口問題研究所研究員 等)

◆前期課程→他大学後期課程進学(東京大学、一橋大学、ロンドン大学、エディンバラ大学 等)

◆他大学前期課程→本学後期課程→大学教員等(東京外国語大学、日本大学、アモイ大学、フランクフルト大学、メキシコ国立自治大学、奈良教育大学、法政大学、国際ファッション専門職大学の教員、国立女性教育会館専門員、平成帝京大学、長野大学、日本労働研究・研修機構 等)

伊藤園、電力中央研究所、NECソリューションイノベータ、日本新薬、日鉄ソリューションズ、NTTデータグループ、森下仁丹 等
【後期課程】静岡社会健康医学大学院大学(講師)、新潟県立大学(助手) 等

■遺伝カウンセリングコース/領域

【前期課程】神奈川県立こども医療センター、済生会宇都宮病院、亀田総合病院、株式会社ファルコバイオシステムズ、埼玉県立小児医療センター、埼玉医科大学、国立がん研究センター、日本医科大学、国立病院機構東京病院、東京医科大学、静岡県立総合病院、がん研究会有明病院、東京都立墨東病院、東京大学医学部附属病院 等

富士紡HD、プリヂェストン、三井化学、三菱ガス化学、リコー、理化学研究所、東京都公立学校教員 等
【後期課程】NTTT、テルモ、三菱ケミカル、文部科学省、大学教員 等

■情報科学コース/領域

【前期課程】アマゾンウェブサービスジャパン、NTTドコモ、グーグル、KDDI、ソフトバンク、ソニー、凸版印刷、日鉄ソリューションズ、日本IBM、日本銀行、日本原子力研究開発機構、NEC、NTT、日本ヒューレット・パッカード合同会社、NHK、日本マイクロソフト、野村総合研究所、パナソニック、バンダイ、JR東日本、日立システムズ、日立製作所、富士通、プリヂェストン、ミクシィ、三井化学、三菱総合研究所、三菱電機、三菱UFJ銀行、メルカリ、LINEヤフー、ライオン、楽天グループ、リクルート、リコー 等
【後期課程】産業技術総合研究所人工知能研究センター、日本原子力研究開発機構、住友電気工業、大日本印刷、東京大学大学院工学研究科、中央大学理工学研究科、東京科学大学情報理工院、東京大学地球観測データ統融合連携研究機構、日産自動車販売、日本IBM、NTT、LINEヤフー 等

福岡地所株式会社、株式会社大気社、YKK AP株式会社、株式会社野村総合研究所、アクセンチュア株式会社、EYストラテジー&コンサルティング株式会社、国立研究開発法人産業技術総合研究所、財務省関税局、経済産業省、環境省 等

利用者・経験者の声



いずみナーサリー 利用者

ライフサイエンス専攻
食品栄養科学領域 博士後期課程1年

井野 睦美

進学を考える上で、ナーサリーがあることは非常に大きかったです。研究や就労の状況に合わせた保育園利用は居住地の園では非常に難しいため、大変ありがたいサポートだと感じています。大学構内は安全かつ自然豊かで、子どもにとってもものびと過ごせる良い環境だと思いますし、親にとっても子どもがすぐそばにいるという安心感があります。

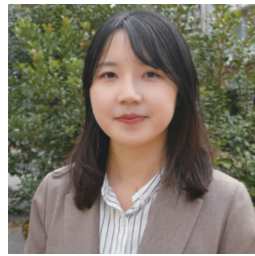


みがかずば 研究員制度利用者

立命館大学
総合心理学部准教授

山岡 あゆち

心理学で博士号取得後、7年半中央省庁で働き、アカデミアに戻ることを決意した際、半年間でも採用していただけたのは大変ありがたい制度でした。キャリアを積み直す機会としても別の大学の研究員ポストと併任しながら研究に集中して取り組む環境を保障していただいた半年間がその後3年間の特任ポスト、そして専任ポストにつながったと思い、大変感謝しております。



社会人入学者

理学専攻
情報科学領域 博士後期課程3年

村上 綾菜

本学の博士前期課程を修了後、ソフトウェアエンジニアとして一般企業に就職しました。同時に、まだこれまでの研究を続けたいと思い、社会人博士として博士後期課程に進学しました。研究室には社会人博士が多く理解があるため、自分のペースで研究と仕事の両立ができます。本学や学会で出会う先生方との議論で、自分の世界の広がりを感じられ充実した日々を送っています。



留学生入学者

ジェンダー学際研究専攻
ジェンダー論領域 博士後期課程1年

謝 依伶

私は中国地方都市における母親規範を、母親の日常生活における他者との相互作用に着目し、質的研究手法を用いて研究しています。ジェンダー研究の蓄積が豊富で、異なる視点をもつ研究者と議論できる点に魅力を感じ、お茶の水女子大学を選びました。ゼミでは和やかな雰囲気の中で多様な意見が交わされ、また留学生への支援体制も整っており、安心して研究に専念できる環境だと感じています。

留学経験者の声

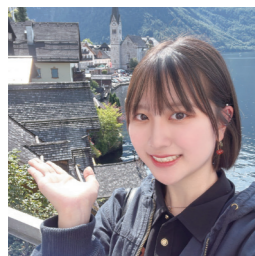


長期交換留学

生活工学共同専攻
博士前期課程1年

菅野 萌々寧

私はアジアの生活排水に関する研究を行っており、研究を行いつつ現地視点で環境工学を学ぶためにタイへ留学しました。授業は実践的なものが多く、座学では得難い多くの学びがありました。研究と授業の両立は大変でしたが、仲間と助け合いながら乗り越えたことは今でも大切な経験です。大学院は自分で学びを選び取れる場ですので、興味があれば留学もぜひ検討してみてください！



短期研修

理学専攻
情報科学コース 博士前期課程1年

澤村 今日子

修士1年の夏休みに、オーストリアのウィーン工科大学で実施された短期研修に参加しました。研修では、主に「赤いウィーン」と呼ばれる社会運動の歴史や、ウィーン市内の建築について学びました。研修では、現地学生との会話や授業を通じて英語力が向上しただけでなく、新しい環境に積極的に飛び込む姿勢を身につけることができました。これらの力は、現在の私の自信にも大きくつながっています。

*学生の所属及び学年は2026年3月現在

大学院入試情報

◎入試情報
<https://www.ao.ocha.ac.jp/>



学生募集要項等の請求について

大学院への進学をお考えの方は、学生募集要項をよくご確認ください。各専攻・コースの入試要項が異なります。また、社会情勢等により、試験期日が急ぎょ変更になる可能性もあります。変更があった場合は、ホームページで通知いたしますので、最新情報を確認してください。

<https://www.ao.ocha.ac.jp/application/howto/index.html>



◎ 前期課程入試要項 実施専攻・コース及び募集人員

○および●印：各入試を実施するコース

専攻	募集人員 (注1)	コース	8月入試 (2026年10月入学・ 2027年4月入学)		9月入試 (2027年4月入学)			2月入試 (2027年4月入学)	
			一般入試 外国人留学生入試	社会人 特別入試	一般入試 外国人留学生 入試	社会人 特別入試	推薦入試	一般入試 外国人留学生 入試	社会人 特別入試
比較社会文化学専攻	58名	日本語日本文学コース			○	○	○	○	○
		アジア言語文化学コース			○	○	○	○	○
		英語圏・仏語圏言語文化学 コース(英語圏言語文化専修)			○	○	○	○	○
		英語圏・仏語圏言語文化学 コース(仏語圏言語文化専修)			○	○	○	○	○
		日本語教育コース			○	○	○	○	○
		思想文化学コース			○	○	○	○	○
		歴史文化学コース			○	○	○	○	○
		生活文化学コース			○	○	○	○	○
		舞踊・表現行動学コース			○	○	○	○	○
		音楽表現学コース			○	○	○	○	○
人間発達科学専攻	27名	教育科学コース			○	○	○	○	○
		心理学コース			○	○	○	○	○
		発達臨床心理学コース			○	○	○	○	○
		応用社会学コース			○	○	○	○	○
ジェンダー 社会科学専攻	18名				○	○	○	○	○
					○	○	○	○	○
ライフサイエンス 専攻	39名	生命科学コース	●(注2)	○				○	○
		食品栄養科学コース	●(注2)	○				○	○
		遺伝カウンセリングコース	○	○				△(注3)	○
理学専攻	70名	数学コース	●(注2)	●(注2)				○	○
		物理科学コース	●(注2)	○				○	○
		化学・生物化学コース	●(注2)	○				○	○
		情報科学コース	●(注2)	●(注2)				○	○
共創工学専攻	10名			●(注2)	●(注2)			○	○

(注1) 募集人員は、8月・9月・2月実施の全コース及び全入試区分を含めた人数である。

(注2) 一覧で●のついたコース・入試区分についてのみ、10月入学を希望できる。

ただし、10月入学の場合は、2026年度の専攻・コースに所属し、2026年度の授業科目を履修することになること、また、2026年度の専攻・コースの担当教員から志望教員を選ぶことになるので、注意すること。

(注3) 「遺伝カウンセリングコース」の2月入試は、8月入試で定員が充足された場合、実施しない。2月入試の実施の有無は、11月30日(月)までに本学南門掲示板及び入試情報Webページ(<https://www.ao.ocha.ac.jp/>)上で通知する。

◎ 後期課程入試要項 実施専攻・領域及び募集人員

○印：各入試を実施する専攻

専攻	領域	募集人員(注1)	9月入試	3月入試
比較社会文化学専攻	国際日本学領域、言語文化論領域、比較社会論領域、表象芸術論領域	25名	○	○
人間発達科学専攻	教育科学領域、心理学領域、発達臨床心理学領域、社会学・社会政策領域、保育・児童学領域	13名	○	○
ジェンダー学際研究専攻	ジェンダー論領域	4名	○	○
ライフサイエンス専攻	生命科学領域、食品栄養科学領域、遺伝カウンセリング領域	12名	○	○
理学専攻	数学領域、物理科学領域、化学・生物化学領域、情報科学領域	17名 <small>情報科学領域 12名含む</small>	○	○

(注) 募集人員には、一般入試、外国人留学生入試以外の進学者選考の募集人員を含む。

◎ 生活工学共同専攻入試要項 実施課程(2026年10月入学(注1)・2027年4月入学)及び募集人員

専攻	募集人員	一般選抜	社会人特別選抜	外国人留学生特別選抜
生活工学共同専攻(後期課程)	2名(注2)	○	○	○

(注1) 10月入学を希望できるのは、夏季実施入試のみである。

(注2) 募集人員は、一般選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜を合わせてお茶の水女子大学、奈良女子大学、各大学2名(後期課程)とする。秋季(10月)入学の募集人員は、その中の若干名とする。